

第二回システムアシュランス研究会 第二回 DEOS 標準化部会講演会

主 催：神奈川大学総合理学研究所
神奈川大学プログラミング科学研究所
社) ディペンダビリティ技術推進協会標準化部会

日 時：12月18日（木）15:30~18:00

会 場：KUポートスクエア（みなとみらい <http://www.ku-portsquare.jp/>)

定 員：50名（先着順）

参加費：無料

プログラム：

- 15:30 – 16:20 講演「適合性評価の国際的な仕組み」
三井 清人（JQA 日本品質保証機構、特別参与）
- 16:30 – 17:10 講演「アシュランスケース事例報告」
平井 誠（神奈川大学 総合理学研究所、客員研究員）
- 17:10 – 18:00 講演「IEC TC56 Dependability 活動報告」
木下 佳樹（神奈川大学 理学部、教授／DEOS 標準化部会、主査）
- 18:30 – 懇親会（場所：会場周辺、費用：4,000円程度）

お申込み：

<https://docs.google.com/a/progsci.info.kanagawa-u.ac.jp/forms/d/1jLQONrwYQ3VhweOsGG6rYz53Msntoy4apIY8ZlxIs2I/edit#> から必要事項を送信ください。

アクセスできない場合、下記の間合せ先まで、メールで（ご所属機関名・ご所属部署、懇親会参加の可否）をご連絡ください。

お問合せ：deos-standard@progsci.info.kanagawa-u.ac.jp

講演概要

講演 1 : 「適合性評価の国際的な仕組み」

三井 清人 (JQA 日本品質保証機構、特別参与)

適合性評価 (conformity assessment) という言葉は、試験・検査・認証・認定などの総称として、1980年代から貿易交渉や国際規格の分野で使われるようになった。現在では、適合性評価の仕組みと活動内容が国際規格ISO/IEC 17000シリーズの規格によって規定され、その利用が世界的に進んだ結果、様々な分野で適合性評価結果の相互承認が行われている。本講演では、その仕組みの全体像を概観した上で、システムの認証に関する国際規格の概要を説明する。

講演 2 : 「アシュランスケース事例報告」

平井 誠 (神奈川大学 総合理学研究所、客員研究員)

ITシステムを対象としたアシュランスケースの事例として、学内でのファイル共有サービスの例を紹介します。これは、関係者間で合意を維持し、開発と運用が、妥当に継続されていることを確認するものです。

講演 3 : 「IEC TC56 Dependability 活動報告」

木下 佳樹 (神奈川大学 理学部、教授/DEOS 標準化部会、主査)

IEC (International Electrotechnical Commission) TC (Technical Committee) 56 Dependabilityは、ディペンダビリティに関する国際標準を所掌している。同TCで制定を進めている IEC 62853 Ed.1 Open Systems Dependability の内容について、最新草稿をもとに解説する。また、本年(2014)10月にプラハにて開催された全体集会 (plenary meeting)について報告する。